

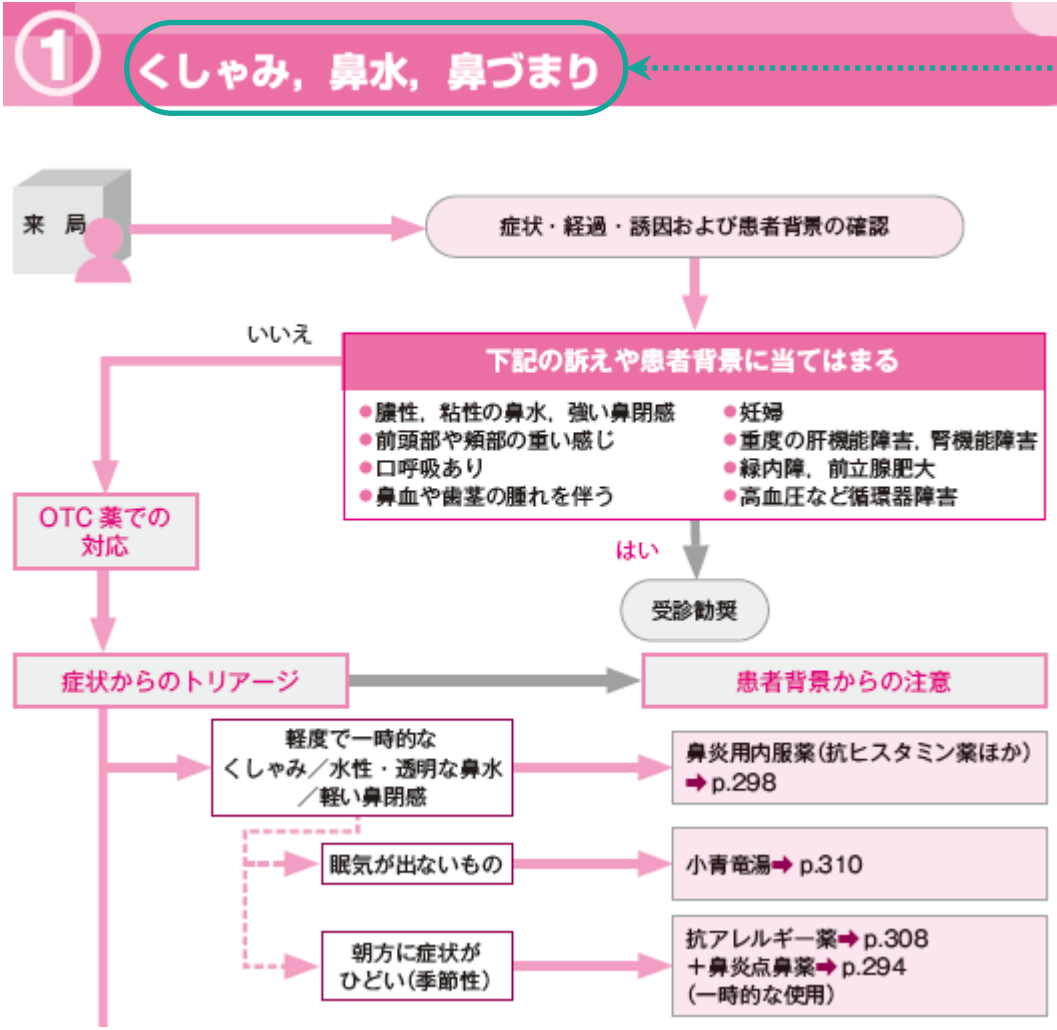
# 今日のOTC薬 (改訂第3版) 新旧対照表



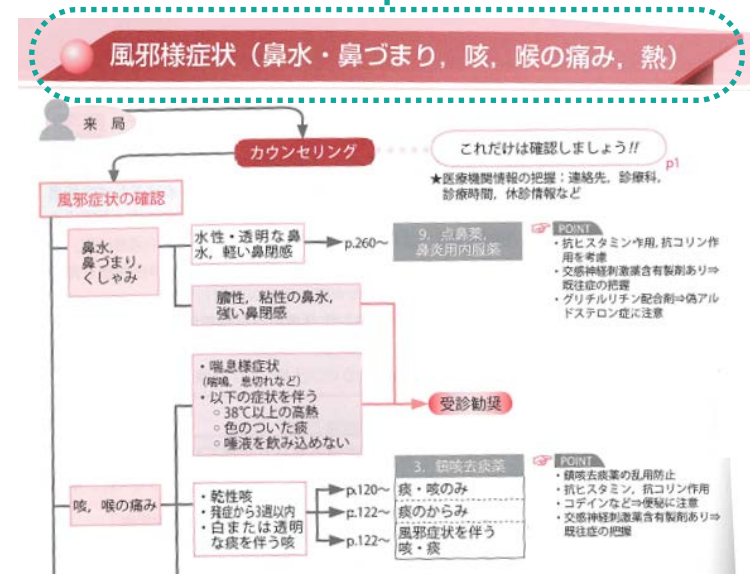
南江堂「今日の治療薬」編集室

新

旧



症状を細分化しました



新

旧

## ② 総合感冒薬

⇒フローチャート p.6~13 参照

### 1 感冒の原因と発症メカニズム

感冒（風邪症候群）は、多くはウイルスが上気道（鼻腔、口腔、咽頭、喉頭）の粘膜、進行すれば気管・気管支の粘膜に感染し、急性炎症を生じている状態の総称であり、「かぜ」として日常的に認められる疾患である。一般には3~7日間で軽快する代表的な病原ウイルスは、成人ではライノウイルスが最多で、小児ではRSウイルスも多く、感染経路は飛沫感染である。上気道症状が主で、鼻炎（鼻汁、鼻閉、くしゃみ）、咽頭炎・喉頭炎（咽頭痛、嚔声）が発熱（プロスタグランジンが視床下部の体温調節中枢に作用）、全身倦怠感や頭痛などとともに生じ、炎症が気管支などの下気道まで及べば、咳や痰も認められる。消化管に感染すると（エコー、コクサッキーなどのエンテロウイルス）、下痢、吐き気などの消化器症状を生じることもある。インフルエンザ、全身臓器の各種感染症、アレルギー疾患、膠原病、中枢疾患、薬物副作用など、初期に感冒様症状を示す疾患は非常に多く、「かぜ」以外の疾患の可能性も常に念頭に置き、鑑別する必要がある（表1）。

新設

← 当該の記述なし

OTC薬で対応できる症状の原因を詳しく解説しました

表1 「かぜ」と類似疾患の主な病原ウイルスと特徴的な臨床症状

ライノウイルス、コロナウイルス	鼻炎（鼻汁、鼻閉、くしゃみ）
アデノウイルス	咽喉頭炎（咽頭痛、嚔声）、気管支炎（喘鳴、咳嗽）、結膜炎（眼やに、充血）
バラインフルエンザウイルス	咽頭炎、下気道炎
RSウイルス	鼻炎、気管支炎、肺炎

新

4 選ぶべき成分・選んではならない成分

他に飲んでいる薬がある

薬効群	以下の薬剤を服用中の場合、併用する成分に注意する	アスピリン	アスピリン以外の NSAIDs	アセトアミノフェン	その他	備考
抗精神薬	リチウム製剤	●	●			リチウムの血中濃度が上昇し、リチウム中毒となるおそれがある。
降圧薬	チアジド系利尿薬	●	●			NSAIDs の腎 PG 合成阻害作用により利尿作用が減弱する。
抗血栓薬	ワルファリン	●	●	●		血漿蛋白結合部位においてワルファリンの遊離が増大し、出血傾向が増大する。
気管支喘息治療薬	キサンチン誘導体				メチルエフェドリン塩酸塩	低カリウム血症になるおそれがある。
副腎皮質ステロイド	プレドニゾロン				抗ヒスタミン薬、抗コリン薬 (ヨウ化イソプロバミド、ベラドンナ)	相加的に抗コリン作用が増強する。
その他	抗コリン作用を有する薬剤 (三環系抗うつ薬・抗アレルギー薬・鎮痛治療薬など)				漢方成分	カンゾウの成分グリチルリチン酸の過剰摂取により偽アルドステロン症 (浮腫、血圧上昇、低カリウム血症) が生じることがある (P.77 コラム 風邪によく使われる OTC 漢方薬の選び方を参照)。

旧

他に飲んでいる薬がある

以下の薬剤を服用中の場合、併用する成分に注意する。

**リチウム製剤 ↔ アスピリン及び他の NSAIDs**

リチウムの血中濃度が上昇し、リチウム中毒となるおそれがある。

**チアジド系利尿薬 ↔ アスピリン及び他の NSAIDs**

NSAIDs の腎 PG 合成阻害作用により利尿作用が減弱する。

**ワルファリン ↔ アスピリン及び他のサリチル酸系、NSAIDs、アセトアミノフェン**

血漿蛋白結合部位においてワルファリンの遊離が増大し、出血傾向が増大する。

**キサンチン誘導体、プレドニゾロン ↔ メチルエフェドリン塩酸塩**

低カリウム血症になるおそれがある。

**抗コリン作用を有する薬剤 ↔ 抗ヒスタミン薬、抗コリン薬 (ヨウ化イソプロバミド、ベラドンナ)**

相加的に抗コリン作用が増強する。

相互作用を表に改訂しました

新

旧

副作用を表に改訂しました

次の成分の副作用には注意が必要

薬剤	副作用症状と対策	
NSAIDs	症状	胃腸障害 胃部不快感、食欲不振、胸やけ、胃痛、悪心
	対策	空腹時に服用しない
	症状	皮膚 発疹、かゆみ
	対策	服薬を中止する。今後は同成分を配合した薬剤は避ける。
アセトアミノフェン	症状	肝障害 発熱、倦怠感、食欲不振
	対策	漫然と使用せず、自覚症状が出たら中止する。特に小児や高齢者に注意。
中枢性麻薬性鎮咳薬	症状	呼吸抑制
	対策	新生児、乳児では、呼吸抑制の感受性が高いため、避ける。中枢性非麻薬性鎮咳薬（ノスカピン、グアイフェネジン、デキストロメトルフアン）を選ぶ。
	症状	排尿障害
	対策	前立腺肥大のある方では、抗コリン作用をもつ中枢性麻薬性鎮咳薬により、症状が悪化する可能性があるため避ける。できれば高齢者には選択すべきではない。
	症状	悪心・嘔吐
	対策	服用を中止する。他の鎮咳成分配合薬を選ぶ。
抗ヒスタミン薬	症状	眠気
	対策	第一世代の方が生じやすいため、第二世代のものを選択する。しかし、眠気には個人差があるため成分のみに依存しない。どうしても服用する場合は車の運転や危険な作業をしない。
	症状	悪心・嘔吐、排尿障害、緑内障悪化（抗コリン作用）
	対策	抗ヒスタミン薬も抗コリン作用を持つため、緑内障や前立腺肥大のある方は症状が悪化する可能性があるため避ける。第一世代の方が抗コリン作用は大きい。高齢者の方は注意が必要である。

次の成分の副作用には注意が必要

**アスピリン** 胃腸障害（胃部不快感、食欲不振、胸やけ、胃痛、悪心）、皮膚（発疹、痒み）

**【対策】** ①胃腸障害：空腹時に服用しない。  
②皮膚：服薬を中止する。今後は同成分を配合した薬剤は避ける。

**アセトアミノフェン** 肝障害（発熱、倦怠感、食欲不振）

**【対策】** 漫然と使用せず、自覚症状が出たら中止する。特に小児や高齢者に注意。

**中枢性麻薬性鎮咳薬（コデインリン酸塩、ジヒドロコデインリン酸塩）** 呼吸抑制、悪心・嘔吐、排尿障害

**【対策】** ①呼吸抑制：新生児、乳児では、呼吸抑制の感受性が高いため、避ける。中枢性非麻薬性鎮咳薬（ノスカピン、グアイフェネジン、デキストロメトルフアン）を選ぶ。

②排尿障害：前立腺肥大のある方では、抗コリン作用をもつ中枢性麻薬性鎮咳薬により、症状が悪化する可能性があるため避ける。できれば高齢者には選択すべきではない。

**抗ヒスタミン薬（ジフェニヒラリン、カルピノキサミン、クロルフェニラミン、クレマスチン、メキタジンなど）** 眠気、悪心・嘔吐、排尿障害、緑内障悪化

**【対策】** ①眠気：第一世代の方が生じやすいため、第二世代のものを選択する。しかし、眠気には個人差があるため成分のみに依存しない。どうしても服用する場合は車の運転や危険な作業をしない。

②悪心・嘔吐、排尿障害および緑内障悪化（抗コリン作用）：抗ヒスタミン薬も抗コリン作用をもつため、緑内障や前立腺肥大のある方は症状が悪化する可能性があるため避ける。第一世代の方が抗コリン作用は大きい。高齢者の方は注意が必要である。

**抗コリン薬（ヨウ化イソプロパミド、ペラドンナ総アルカロイド）** 便秘、口の渇き、心臓病、排尿障害、緑内障悪化

**【対策】** ①便秘、口の渇き：漫然と使用せず、風邪症状が改善したら中止する。  
②排尿障害、緑内障悪化：緑内障や前立腺肥大のある方に症状が悪化する可能性があるため避ける。



新

中分類	商品名	解熱鎮痛成分	抗ヒスタミン成分	鎮痛成分	去痰成分	カフェイン	生薬成分	その他の成分	備考
解熱鎮痛薬・かぜ薬 解熱鎮痛薬・かぜ薬 解熱鎮痛薬・かぜ薬	●コルゲンコーワB【1日2回】Tカプセル (興和)【指定2類】 持続性カプセル【1日2回】 イブプロフェン配合、1日2回服用	イブプロフェン 400mg	d-クロルフェニ ラミンマレイン酸塩 3.5mg	デキストロメト ルファン臭化水素酸 塩水和物 48mg、 d-メチルエフェ ドリン塩酸塩 60mg				ヨウ化ソプロバ ミド(抗分泌成 分) 5mg	解熱鎮痛薬・かぜ薬で喘息、出産予定12週以 内、運転操作(眠気、目のかすみ、異常なまぶ しさ)、飲酒、長期適用 禁忌 ジドブジン(=イブプロフェン)、カテコラミン (=メチルエフェドリン)、MAO阻害薬(=デキ ストロメトルファン) 妊婦、授乳中、高齢者、高熱、排尿困難、甲状 腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、 腎臓病、緑内障、SLE、混合性結合組織病、 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
	●新コンタックかぜEX (グラクソ)【指定2類】 カプセル【1日2回】			ジヒドロコティ ン酸塩 24mg、 d-メチルエフェ ドリン塩酸塩 60mg、 ノスカピン 48mg					解熱鎮痛薬・かぜ薬で喘息、出産予定12週以 内、運転操作(眠気、目のかすみ、異常なまぶ しさ)、授乳中、飲酒、長期適用 禁忌 ジドブジン(=イブプロフェン)、カテコラミン (=メチルエフェドリン)、MAO阻害薬(=デキ ストロメトルファン) 妊婦、授乳中、高齢者、高熱、排尿困難、甲状 腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、 腎臓病、緑内障、SLE、混合性結合組織病、 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
	●パブロンエース錠 フィルムコーティング錠 ●パブロンエース顆粒 顆粒 (大正)【指定2類】			カルピノキサミン マレイン酸塩 7.5mg	ジヒドロコティ ン酸塩 24mg、 d-メチルエフェ ドリン塩酸塩 60mg、 ノスカピン 48mg				無水カフェイン 75mg

各カラムの情報の有無が  
はっきりわかるようになりました

旧

中分類	商品名	解熱鎮痛成分	抗ヒスタミン成分	鎮痛成分	去痰成分	カフェイン	生薬成分	その他の成分	備考		
解熱鎮痛薬・かぜ薬 解熱鎮痛薬・かぜ薬 解熱鎮痛薬・かぜ薬 解熱鎮痛薬・かぜ薬 解熱鎮痛薬・かぜ薬	●コルゲンコーワB【1日2回】Tカプセル (興和)【指定2類】 持続性カプセル【1日2回】	イブプロフェン 400mg	d-クロルフェニ ラミンマレイン酸塩 3.5mg	デキストロメト ルファン臭化水素酸 塩水和物 48mg、 d-メチルエフェ ドリン塩酸塩 60mg				ヨウ化ソプロバ ミド(抗分泌成 分) 5mg	解熱鎮痛薬・かぜ薬で喘息、運転操作(眠気、 異常なまぶしさ) 飲酒、長期適用 禁忌 ジドブジン(=イブプロフェン)、カテコラミン (=メチルエフェドリン)、MAO阻害薬(=デキ ストロメトルファン) 妊婦、授乳中、高齢者、高熱、排尿困難、甲状 腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、 腎臓病、緑内障、SLE、混合性結合組織病、 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病		
	●パブロンエース錠 フィルムコーティング錠 ●パブロンエース顆粒 顆粒 (大正)【指定2類】			カルピノキサミン マレイン酸塩 7.5mg	ジヒドロコティ ン酸塩 24mg、 d-メチルエフェ ドリン塩酸塩 60mg、 ノスカピン 48mg				チアミン衍化物 24mg、リボフ ラビン 12mg、 リンチム塩酸塩 (抗炎症成分) 90mg	鶏卵アレルギー、解熱鎮痛薬・かぜ薬で喘息、 運転操作(眠気) 飲酒、長期適用 禁忌 ジドブジン(=イブプロフェン)、カテコラミン (=メチルエフェドリン) 妊婦、授乳中、高齢者、高熱、排尿困難、甲状 腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、 腎臓病、緑内障、SLE、混合性結合組織病、 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病	
	●カイゲン感冒錠 フィルムコーティング錠 (カイゲン)【指定2類】								無水カフェイン 75mg		解熱鎮痛薬・かぜ薬で喘息、運転操作(眠気)、 授乳中、飲酒、長期適用 禁忌 ジドブジン(=イブプロフェン)、カテコラミン (=メチルエフェドリン)
	●ベラックコールド3 フィルムコーティング錠 (第一三共)【指定2類】				ジヒドロコティ ン酸塩 22mg、 d-メチルエフェ ドリン塩酸塩 60mg						解熱鎮痛薬・かぜ薬で喘息、運転操作(眠気)、 授乳中、飲酒、長期適用 禁忌 ジドブジン(=イブプロフェン)、カテコラミン (=メチルエフェドリン)
	●レルアタックIB フィルムコーティング錠 小型のフィルムコーティング錠 (第一三共)【指定2類】							ブロムヘキシン塩 酸塩 12mg			妊婦、高齢者、高熱、排尿困難、甲状腺機能障 害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、 緑内障、SLE、混合性結合組織病、胃・十二指 腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

新

696 アスパ

- アスパラドリンク DX.....588(滋養)
- アスパラドリンク a.....588(滋養)
- アスパラ目薬 L.....458(眼)
- アスパラ目薬クール IC.....460(眼)
- アスパラ目薬モイスト CL.....470(眼)
- アスピリン [サリチル酸系/解熱鎮痛]
  - .....64(解熱), 92(感冒)
  - アスピリン配合.....74(解熱)
  - アスピリンアルミニウム [サリチル酸系]
    - .....64(解熱)
- アズレアイラがい液.....318(歯口)
- アズレンスルホン酸ナトリウム [抗炎症成分/粘膜保護・修復成分/消炎・取れん成分]
  - .....166(胃腸), 255(外鎮痛), 314(歯口), 449(眼)
  - アズレンスルホン酸ナトリウム配合.....316(歯口)
- アズローチ.....328(歯口)
- アセサル A, 新.....350(湿疹)
- アセス.....324(歯口)
- アセス L.....324(歯口)
- アセス液.....324(歯口)
- アセスメディクリーン.....324(歯口)
- アセチルサリチル酸配合.....74(解熱)
- アセトアミノフェン [解熱鎮痛/アニリン系]
  - .....64(解熱), 88, 92(感冒)
  - アセトアミノフェン配合.....76, 80(解熱), 106, 130(感冒)
- アセモテマ S.....352(湿疹)
- アゼラスチン塩酸塩 (第二世代抗ヒスタミン成分)
  - .....290(鼻炎)
  - アゼラスチン塩酸塩配合.....306(鼻炎)
  - アセンヤク [生薬].....203(整腸)
- アダム A錠.....78(解熱)

- アネロン「ニスキャップ」.....508(乗酔)
- アパロン S.....184(胃腸)
- アパロン Z.....184(胃腸)
- アフタッチ A.....316(歯口)
- アベシデン E.....158(咳痰)
- アペテート整腸薬, 新.....210(整腸)
- アポステイー EC + B.....562(ビタ)
- アポステイークリーム.....398(にきび)
- アポステイーローション.....414(消毒)
- アミノ安息香酸エチル [鎮吐成分/局所麻酔成分]
  - .....167(胃腸), 238(痔), 337(湿疹), 505(乗酔)
- アミノエチルスルホン酸 [アミノ酸など]
  - .....449(眼), 570(滋養)
- アミノ酸.....568, 576(滋養)
  - 成分の作用と特徴.....570(滋養)
- アミノフィリン水和物 [気管支拡張成分]
  - .....140(咳痰)
- アモロルフィン塩酸塩 [抗白癬菌成分]
  - .....427(水虫)
- アモロルフィン塩酸塩配合.....434(水虫)
- アラセナ S.....324(歯口)
- アラントイン [抗炎症成分/組織修復成分/消炎・取れん成分]
  - .....238(痔), 337(湿疹), 366(虫痒), 375(しもやけ), 402(やけど), 411(消毒), 428(水虫), 449(眼)
- リアンナ C.....564(ビタ)
- リアンナ B.....556(ビタ)
- リアンナ F.....586(滋養)
- リアンナ A.....554(ビタ)
- リアンナ A50.....554(ビタ)
- リアンナ EX ゴールド.....560(ビタ)
- リアンナ EX プラス.....560(ビタ)
- リアンナ R.....594(滋養)

旧

640 アシク

- 《作用と特徴》.....279(歯口)
- 《授乳中に注意》.....278(歯口)
- アシドフィルス菌 [乳酸菌成分]
  - .....182~184(整腸)
  - 《作用と特徴》.....177(整腸)
- アシノン Z.....156(胃腸)
- アシノン Z 胃腸内服液.....156(胃腸)
- アシノン Z錠.....156(胃腸)
- アスゲン P
  - PVA クリーム a.....304(湿疹)
  - PVA 軟膏 a.....304(湿疹)
  - 散.....128(咳痰)
  - 鼻炎カプセル S.....264(鼻炎)
  - 鼻炎錠 S.....266(鼻炎)
- アスコラル.....240(外鎮痛)
- アスコラル GT.....234(外鎮痛)
- アスコルビン酸 [ビタミン C]
  - .....152(胃腸), 510, 518~522(ビタ)
  - 《作用と特徴》.....57(解熱), 79(感冒), 127(整腸), 508(飲み)
- アスコルビン酸 K(ビタミン C).....520(ビタ)
- アスコルビン酸カルシウム [ビタミン C]
  - .....520~522(ビタ), 550(滋養)
- レアスコルビン酸ナトリウム [ビタミン C]
  - .....520(ビタ)
- アスコルビン酸・レアスコルビン酸ナトリウム [ビタミン C]
  - .....518(ビタ)
- アズセグローチ.....290(歯口)
- アストフィリン S.....128(咳痰)
- アスパカール, 新.....424(眼)
- アスパライトロイイアル E.....422(眼)
- アスパラギン酸 《作用と特徴》.....527(滋養)
- レアスパラギン酸塩 《作用と特徴》.....414(眼)
- レアスパラギン酸カリウム [アミノ酸類]
  - .....476(眼), 544(滋養)

- アスピリンアルミニウム [解熱鎮痛成分]
  - .....98(感冒)
  - 《作用と特徴》.....57(解熱)
- アスペルギルス・オリゼー NK 菌培養末 (消化成分).....166(胃腸)
- アズレアイラがい液.....282(歯口)
- アズレンスルホン酸ナトリウム [抗炎症成分ほか]
  - .....434~436, 442(眼), 280~282, 290(歯口)
  - 《作用と特徴》.....144(胃腸), 227(外鎮痛), 279(歯口), 415(眼)
- アズローチ.....290(歯口)
- アセサル A, 新.....312(湿疹)
- アセス.....286(歯口)
- アセトアミノフェン [解熱鎮痛成分].....58(解熱)
- アセトアミノフェン [解熱鎮痛成分]
  - .....58~68(解熱), 86~110(感冒)
  - 《作用と特徴》.....56(解熱), 78(感冒)
  - 《妊娠中に注意》.....608(妊・授乳)
  - 《副作用》.....55(解熱), 76(感冒)
- あせもクリーム(フィーメラナ).....312(湿疹)
- アセモタミ.....310(湿疹)
- アセモテマ S.....314(湿疹)
- アゼラスチン塩酸塩 [抗ヒスタミン成分]
  - .....272(鼻炎)
  - 《作用と特徴》.....258(鼻炎)
- アセンヤク [生薬成分]
  - .....134(咳痰), 152(胃腸), 454(催眠)
  - 《作用と特徴》.....177(整腸)
- アゾール系抗真菌薬 《相互作用》.....140~141(胃腸)
- アドレナリン.....503(虫除)
- 《作用と特徴》.....414(眼)
- アドレナリン作用薬 [相互作用].....470(整腸)

薬理作用など、詳しい情報を掲載した頁は太字で示しました

商品名は太字 (2版と同様) 一般名には薬効分類を表示 (2版と同様)